

早稲田大学 教育学部 政治・経済 講評

出題形式	マーク式
試験時間	60分
特徴・その他	大問4問の構成は政治・憲法分野から2問、経済分野から2問。設問数は31問。全問マーク式の選択問題へ大きく変わった。[I]の(11)、[IV]の(2)・(3)・(5)・(6)は複数解答。全般的に難問は少ない。一部に資料統計等の細かい数値等を問う設問はあるが教科書・資料・用語集レベルの基礎知識で対応できる。問題演習等により、幅広い基礎知識を養うことが大切。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
[I]	選挙制度	(1)非拘束名簿式比例代表制、2001年の参院通常選挙から導入。(2)ジェンダーとは社会的・文化的に形成された性差。(3)女性議員割合、マスコミ等でも話題になる。(4)非拘束名簿式とは、候補者の名簿はあるが、当選順位は決めない。(11)ジェンダー・クォータ制とは、女性の政治参加を促すために女性候補者数や女性議員数に一定枠を設ける制度。	やや易
[II]	国際人権保障	(3)「人種差別撤廃条約」(あらゆる形態の人種差別の撤廃に関する国際条約)、1965年の第20回国連総会で採択、1969年に発効。(4)イタリアは1955年、東西ドイツは1973年に加盟。(6)障害者権利条約第24条は、障害のある人が「良質な教育を受けられる公平な機会を与えられること」、「個人に必要なとされる合理的配慮が提供されること」等を規定している。	やや易
[III]	医療保険制度	(1)アメリカは、高齢者や身体障害者、低所得者を対象とする公的医療制度はあるが、日本のような国民皆保険制度はない。(2)日本では、1961年より国民皆保険、国民皆年金が実施されている。(8)EBPM(Evidence Based Policy Making : エビデンス(証拠)に基づく政策立案)。	標準
[IV]	市場経済 新自由主義	(1)直接金融、間接金融、違いに注意。(2)不当廉売は独禁法で、不公正な取引方法の一つとして禁止。公取委は不当廉売については、警告・注意等により是正勧告を行う。(3)新自由主義(ネオリベリズム)とは、国家による福祉、公共サービスの縮小(小さな政府、民営化)と大幅な規制緩和、市場原理主義の重視を特徴とする経済思想。	標準

〔総合コメント〕

出題傾向が従来に比べ大きく変化した。一部に統計値に関するやや細かい設問はあるものの、難問は少ない。概ね教科書・資料集・用語集レベルの知識である程度、対応できる。基礎力を充実させ、問題演習を数多く行い、解答力を養うこと。時事的動向や最新の時事用語等については、日頃から新聞記事や時事関連の用語集等にも注意する必要がある。複数解答問題については、各選択肢の文脈の違いに注意して、あわてずに文節を丁寧に読み解く姿勢が求められる。